

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第7週(2月11日~2月17日)

平成20年2月21日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

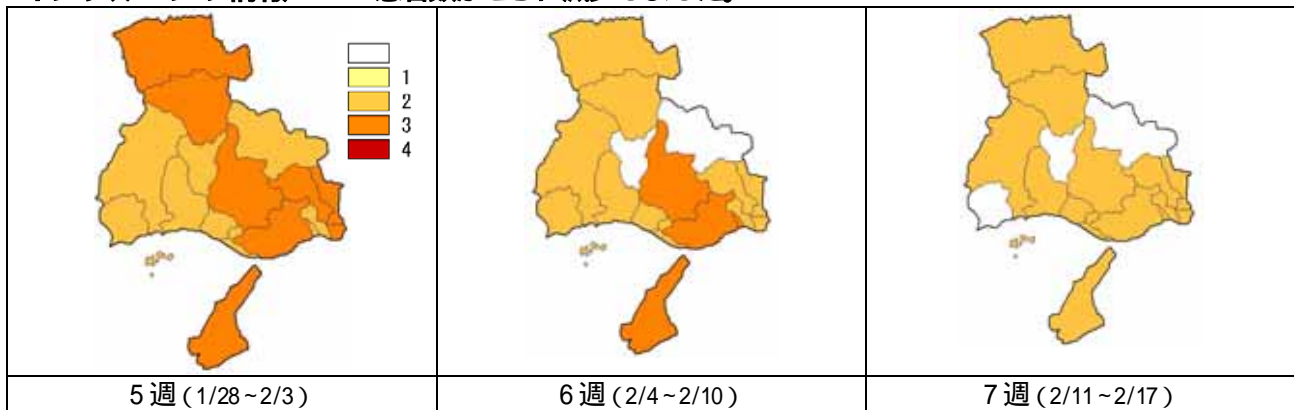
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.gov/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.gov/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

インフルエンザ情報

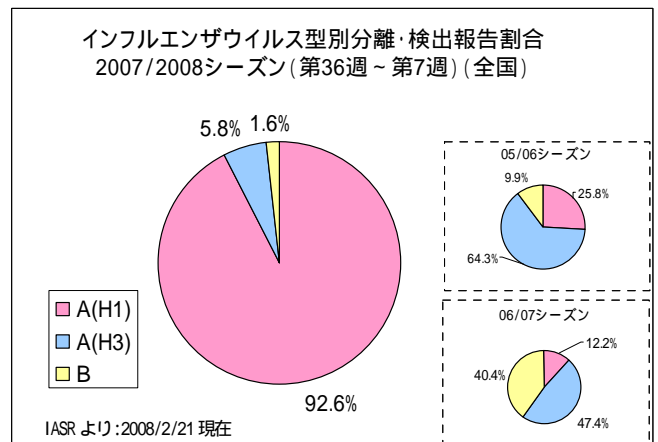
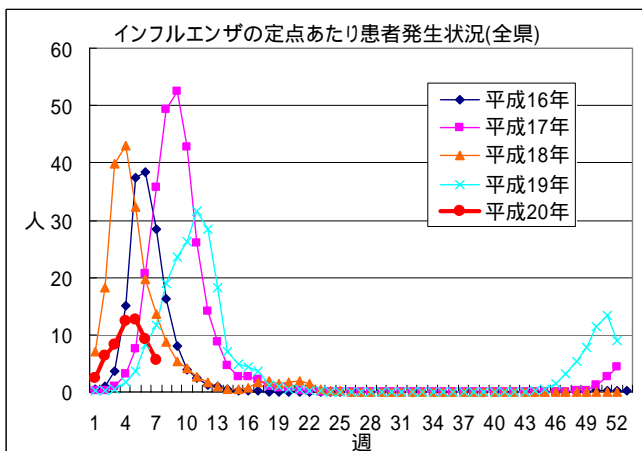
患者数がさらに減少しました。



全国のインフルエンザの定点あたり患者数は今週も減少し、9.51人(先週14.98人)となりました。30府県で警報レベル、47都府県(兵庫県含む)で注意報レベルとなっています(第6週現在)。現在までのところ、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をAH1亜型(Aソ連型)が占めています。(第36週~7週)

今週県内の定点からは患者数1,101人(先週1,853人)、定点あたり患者数5.53人(同9.31人)の報告がありました。先週に引き続き2週連続で減少していますが、県内で今シーズン初めてのB型インフルエンザウイルスが3例分離されました。A香港型やB型が増加してくると新たな流行となるので、インフルエンザの動向には今後も注意が必要です。県内第6週の学級閉鎖等の数は44施設(去年同期42)、欠席者285人(同616人)となっています。

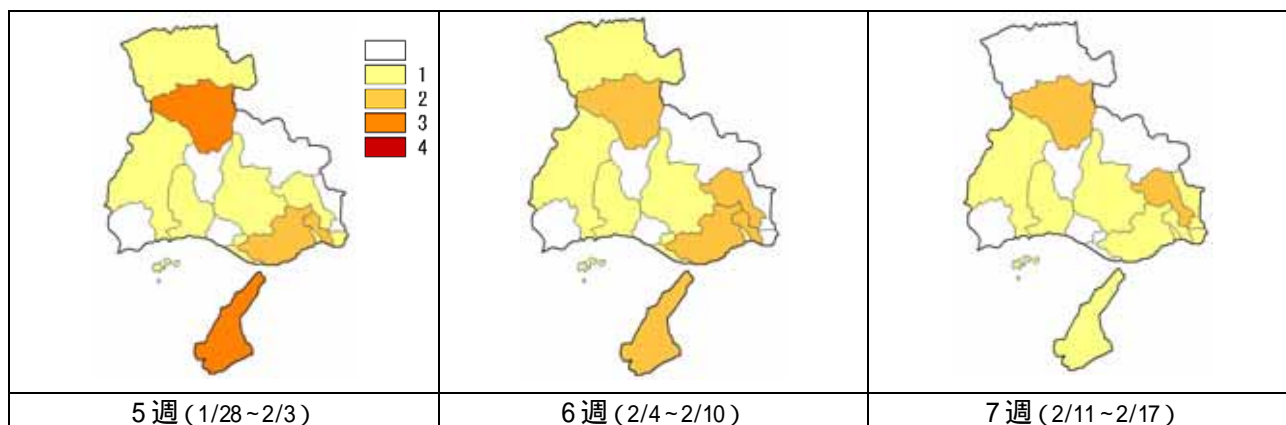
インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



検査情報(県立健康環境科学研究センター)

12月から1月にかけての検体のうち、9検体からインフルエンザウイルスAH1亜型(Aソ連型)、1検体からインフルエンザウイルスB型(Victoria系統)が分離・検出されました。

感染性胃腸炎 流行は平年並みです。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週も減少しましたが、例年3月頃までは患者数の多い状態が続きます。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用する、また牡蠣などの二枚貝は十分に加熱調理するなど注意が必要です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

その他の定点把握感染症等の概況

水痘の定点あたり患者数は今週わずかに減少しました。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれ、流行期を迎えている現在、注意が必要です。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり患者数は今週減少しました。冬期に流行がみられ、学童期の小児に多い感染症です。RSウイルス感染症は2週連続で減少しました。冬期のピークを終え、今後も減少していくものと予想されます。

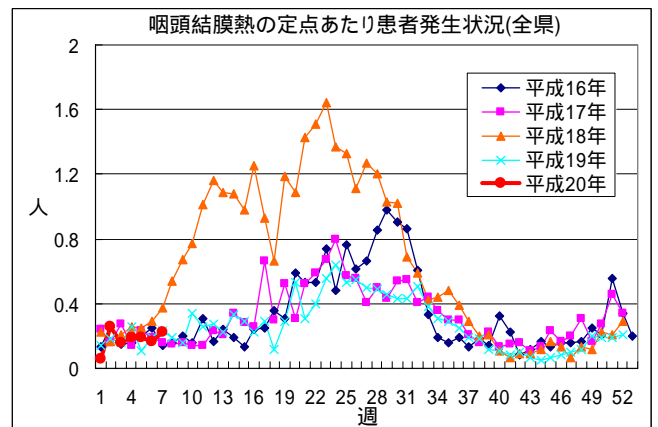
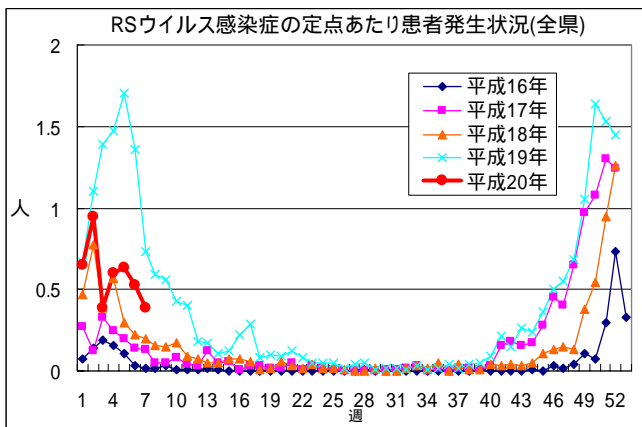
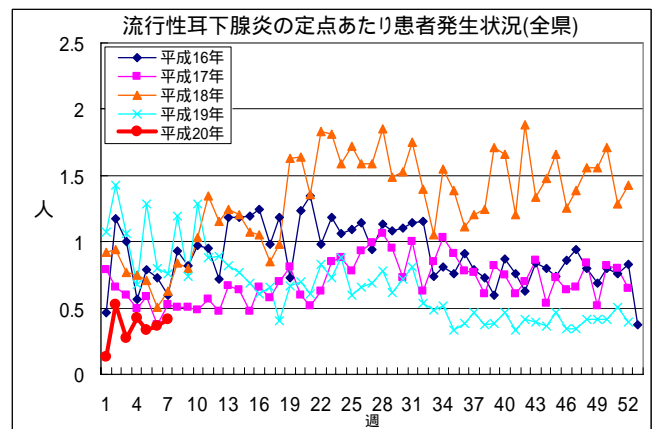
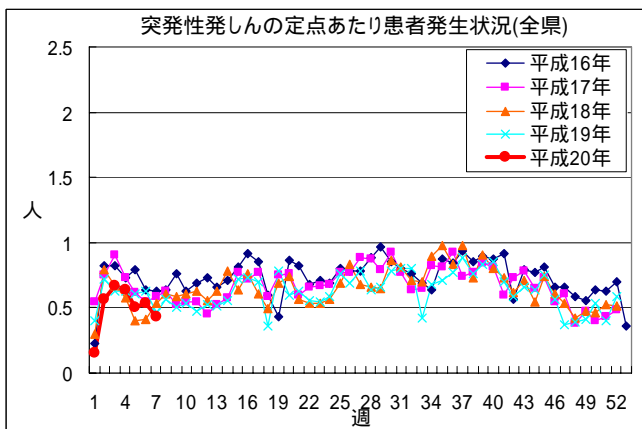
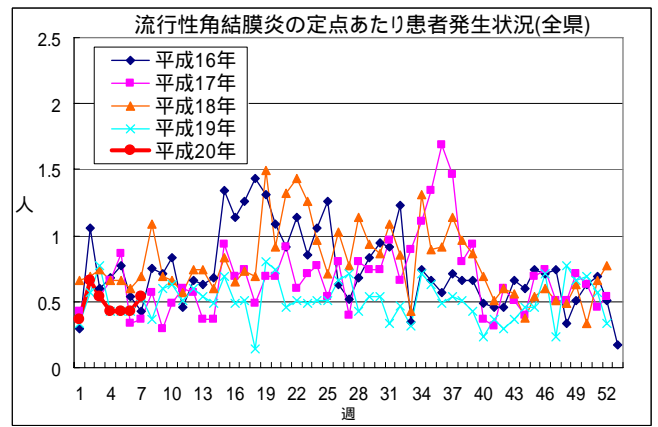
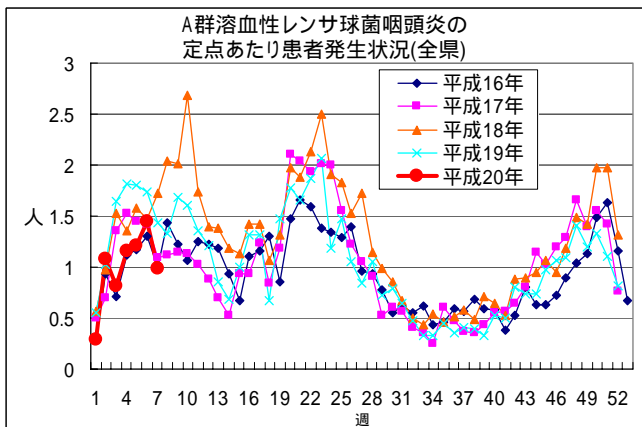
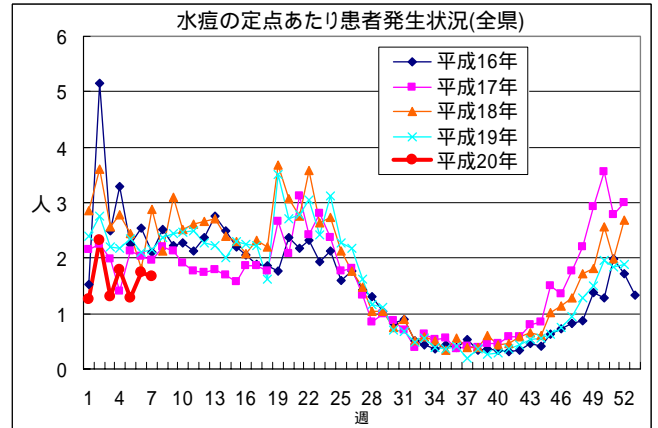
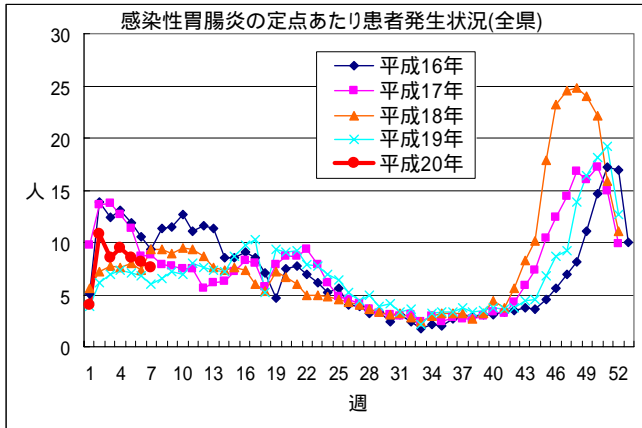
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	7.63	8.19	-0.56	6位	突発性発しん	0.43	0.53	-0.10
2位	インフルエンザ	5.53	9.31	-3.78	7位	流行性耳下腺炎	0.42	0.36	+0.06
3位	水痘	1.66	1.74	-0.08	8位	RSウイルス感染症	0.39	0.53	-0.14
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.99	1.45	-0.46	9位	咽頭結膜熱	0.22	0.17	+0.05
5位	流行性角結膜炎	0.54	0.43	+0.11	10位	手足口病	0.10	0.09	+0.01

全数把握感染症

- 1 類感染症： 報告はありません。
 - 2 類感染症： **結核 15名** (尼崎市5名、姫路市2名、西宮市3名、芦屋健康福祉事務所管内1名、伊丹健康福祉事務所管内1名、宝塚健康福祉事務所管内2名、加古川健康福祉事務所管内1名)
 - 3 類感染症： **細菌性赤痢 1名** (尼崎市：海外渡航者)
腸管出血性大腸菌感染症 3名 (神戸市：0157 VT1+VT2+・うち2名は同一保育園)
 - 4 類感染症： 報告はありません。
 - 5 類感染症： **アメーバ赤痢 1名** (宝塚健康福祉事務所管内：海外渡航者)
風しん 1名 (神戸市・6歳/ワクチン接種歴1回有)
麻しん 2名 (神戸市・27歳,28歳/ワクチン接種歴不明)
- 追加報告：**結核 5名** (明石健康福祉事務所管内5名；第2週1名,第4週3名,第5週1名)
麻しん 2名 (神戸市・6歳,10歳/ワクチン接種歴無/第5週に報告のあった者の兄弟)

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。